



## 学校だより

平成29年9月22日  
 佐渡市立前浜小学校・前浜中学校 No. 55  
 〒952-3541 佐渡市水津858  
 TEL 0259(29)2313 小：E-mail [maehama-es@sado.ed.jp](mailto:maehama-es@sado.ed.jp)  
 中：E-mail [maehama-js@sado.ed.jp](mailto:maehama-js@sado.ed.jp)



## 他生の縁

前浜小学校 校長 清水 昭博

夏休みが大きな事故もなく終了し、学校に子どもたちの元気な姿が戻ってきました。大きな事故もなく終了し何よりだと思えます。保護者、地域の皆様からも子どもたちの様子を気に配っていただいたおかげと感謝いたします。ありがとうございました。

さて、6月号の巻頭言で紹介した本の中に、次のような中学校3年の息子と父親の会話がありました。紹介します。仮に父親をAさんとしましょう。

「おれたちには自由がない」とこの頃イライラしている息子が父親に言ったそうです。

そんな言葉を吐き出す息子の気持ちは、きっと父親に聞いてほしいサインと感じたAさんが、息子にその理由を聞くと、

「それは、すべてだよ。宿題は出る、はっぱはかけられる。勉強はやれやれ。それでなくても入試で不安にさせられてしまうのに、あと3か月だ、2か月だと言われる。もっと好きな科目をゆっくり勉強してみたい。あんまりやれやれと言われると、うるせい、余計なこと言わないでくれと怒鳴りたくなる。それに勉強だけじゃない、服装、持ち物、髪型、何かから何まで規制される。もっと自由にさせてほしいよ。」

こんなことをくどくどと言ったそうです。これに対してAさんは、次のような話をしたそうです。

「自由っていうのは、その人間が責任を取れる分だけ与えられるんだよ。たとえば赤ん坊は何一つ責任がとれないから、自由度はゼロなんだ。自分で服も着られないし、食べることもできない。ちょっと外へ行こうとすれば、『ダメ、危ない』とお母さんに連れもどされる。食べようとする『ダメ、汚いよ、口に入れてはダメ。』と言われ手にしたものを取り上げられてしまう。お前も赤ん坊の時、そうだった。」

でも中3の今はちがう。お前が責任のとれる範囲が小学生のときよりぐんと広がったから、自由の範囲も広がって、電車やバス、自転車で遠くまで出かけることもできる。こういうことを数え上げたらきりが無い。すべてに責任がとれ、すべてにおいて他人に迷惑をかけずにすめば、すべてに自由であり得るはずだ。ところが、どんな大人だって、完全に自由であることはできない。大人は家族のために働かなければならない。社会のために働かなくてはならない。これが、大人の責任なんだ。決して大人は、自由気ままにやっているわけではない。でも中学生のお前より、自由の範囲は広い。それは責任をとる能力が大きくなるからだ。お前の生活をもっとよいものに導いていく責任も親にはある。先生にもそういう責任がある。だから、『こうしろ』『ああするな』と、お前の生活にかかわっていくのだ。お前も早く自分の言動に責任をもつようになれ。そうすれば自由はもっと拡大するよ。」

「自分のことに責任がもてる、とはどういうこと？」

「このことは実は難しいんだなあ。まず、人間はどんな人でも、ひとりでは生きていけないということを実にわかることだと思う。よく、お前たち中学生は『関係ないだろ』と言うだろ。あんなことを言ってるようでは、まだ本当にわかるとは言えないと思う。お前のことを気にしてくれる人がいる。お前の成長を喜んでくれる人がいる。お前ができるようになったと喜ぶ人、お前の過ちを見過ごさないうで叱ってくれる人、お前に無関心ではいられない人がたくさんいる。学校の先生がそうだし、親や兄弟、姉妹、親せき、友達、あるいはお前が気がつかない多くの人たちがそうだ。そういう人たちの『他生の縁』と言うらしい。お前はそういう人たちのおかげで生きている。いや人だけではない、物もそう。いくら頑張ったって空気という物質がなければ、自由も何もない。それなのに空気がありがたいなって思ったことがないのだから、人間なんて勝手なもんだと思う。」

この会話はここで終わっています。このあとの息子の反応がどのようなものなのか、みなさんも想像してみてください。とても素敵な会話だと思います。

秋の夜長、夕食後等ご家庭で子どもたちと接する時間もたくさんあると思いますが、もし機会があれば、Aさん親子のような素敵な会話ができる2学期になるといいですね。



## 佐渡市小学校親善水泳大会

8月1日に佐渡市小学校親善水泳大会が行われました。5、6年生全員が出場し、ほとんどの児童が自己記録を更新しました。始めた頃には50mを泳げなかった子どもが、2種類の泳ぎで最後まで泳ぎきる姿には感動しました。



### ○結果

6年女子 50m自由形 6位 M・Y 45秒63

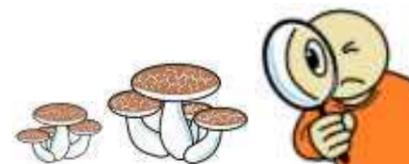
ミックスリレー 3位 4分16秒57

前浜小学校 (Y・N, M・M, H・Y, M・Y)

ミックスメドレーリレー3位 4分46秒10

前浜小学校 (Y・N, M・Y, M・M, H・Y)

## 9/6 チャレンジ発表会



夏休みに子どもたちが取り組んだ、研究や工作作品を発表する「チャレンジ発表会」が行われました。一人一人が、がんばったところや苦労したところなど、来場者に伝えることができました。発表に関しての質問にも、自分の言葉で丁寧に答えていました。



また、次の科学作品については、9月16日・17日にアミューズメント佐渡で行われた「佐渡市科学作品展」に出品されました。

○1年 Y・K「とうみょうのかんさつ」

○4年 K・R「海藻採集」

○5年 H・Y「ソレノイドエンジン」



## 9/4~8 明星大学生 来校



今年度も明星大学の学生が1週間来校し、子どもたちと一緒に学んだり遊んだりしながら様々な活動を体験していただきました。授業も担当し、緊張しながらも若者らしい澁刺としたい授業でした。

「お別れ会」では、親しくなったお兄さんやお姉さんとの別れがつらく、涙を流す子どもがたくさんいました。学生ももらい泣きするほどでした。

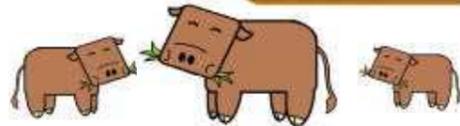
## 8月24日 わたしの主張佐渡地区大会

今年度、わたしの主張佐渡地区大会は金井中学校の体育館で行われました。当校からは3年生のK・Mさんが参加し、「自分の夢」をテーマに発表しました。

Mさんは絵を描くことが好きなこと、漫画家を目指していきいたいこと、そのために自分が何をすべきかなどについて語りました。少し緊張していたようですが、一つ一つの言葉を大切にできちんと発表することができました。真成人さんが夢に向かって突き進めるよう、これからも頑張っていけるよう強く願います。



## 職場訪問 & 職場体験



今年度も2学期初めの8月29・30日の2日間、中川製パン、水津漁協、水津保育園、池野牧場の4事業所で生徒は職場体験を実施しました。

今年度は事前(8月2日)に職場訪問を行い、仕事内容、時間、準備などについて事業所の方々と相談させていただきました。その際に生徒たちは、仕事におけるやりがいや苦勞についてもインタビューし、職場体験に臨む姿勢を確認しました。また、それぞれの職場を盛り上げるために必要な課題を見だし、そのための方策を職場体験を通して考えていきます。1月下旬に発表会を行います。素晴らしいアイデアをまとめられるよう期待しています。

各自の訪問先、体験内容は次のとおりです。職場の皆さんに、生徒の取組等についてアンケートを取りました。集約結果は学校だより臨時号に掲載しています。そちらもご覧ください。

訪問先	訪問生徒	体験内容
中川製パン	K・M(3年)	カステラパン作り、ラベル貼り等
水津漁協	K・T(2年), Y・S(2年)	清掃作業、イカさばき、一夜干し等
水津保育園	U・A(1年), K・N(1年)	水泳指導や給食指導等の手助け
池野牧場	K・H(1年)	草刈り、子牛への授乳、修理助手



## トライアスロン・ボランティアに参加して



暑さも少し和らいだ9月3日(日)、恒例の佐渡トライアスロンが行われました。中学生6名がボランティア・スタッフとして、野浦エイド・ステーションに集結しました(Y・Kさん, Y・Hさんも保護者と一緒に参加し、一生懸命活動していました)。

彼らは選手に提供する水の準備・運搬、選手の欲する物の確認、飲み物の手渡し等、ほぼ休みなく仕事に従事していました。今年度は生徒数が減った関係で、前浜ばやしによる応援はできませんでしたが、その分、生徒たちは次々とバイクで通過していく選手に声援を送っていました。佐渡を盛り上げるためのイベントに貢献することは大切なことですし、限界に挑戦しているアスリートを目の当たりにする経験は将来何かに生きるかも知れません。そういった意味で、これからもこうした活動に参加させていきたいものです。



## 第3回 篠笛教室を終えて



9月13日(水)、本年度最後の篠笛教室を行いました。今回は運動会での前浜ばやし発表に向け、指導者の狩野泰一様よりかなり具体的なアドバイスをいただきました。

まず、中学生が考えたプログラムと隊形を見ていただきました。「工夫があって面白いね」と評価していただいた後、無駄な動きを削ってさらに見栄えがするよう様々な改善案を提供してくださいました。

「見に来てくださる保護者・地域の皆さんを楽しませるよう、演じる工夫をしようよ。」

その言葉を受け、中学生は意見交換しながら隊形移動はもちろん、最初の挨拶にも工夫を凝らしました。センターを務める匠さんの絶妙な口上にぜひご期待ください。

一通り全体の動きを見た後、今度は一人一人の演奏技術や姿勢について指導してくださいました。にこやかな笑顔から一変、プロの音楽家の表情になりました。

「自分の位置と間隔に神経使って！きれいにそろった動きだけで人って感動するんだよ。」

「笛と太鼓、しっかり音出して！まず音がきちんとして動きや隊形があるんだからね。」

「同じことやっても、美しく見せようとする人とそうじゃない人って全然違ってくるよ。」

しかし、狩野様はただ厳しいのではなく、児童・生徒の現状に即して分かりやすく説明して下さるのです。ワンポイント・アドバイスで児童・生徒の出す音や動きが変わるのが分かりました。それらの指導を生かせるよう、今後も練習を進めていきたいと思ひます。10月7日の運動会で、最高のパフォーマンスができることを願っています。



## P T A 除草作業 ご協力ありがとうございました



9月2日(土)、P T A 除草作業が行われました。朝6時という早い時間帯ながら、多くの保護者の方々が参加してくださいました。

お父さん方が操作する何台もの草刈り機の音が響き、トラックの周辺部、フェンスの外側、さらには急傾斜の土手と、見る見る草が刈り取られていきました。その草をお母さん方や児童と一緒に集め、中学生が運搬しました。皆さんの真剣な取組と協力によって、1時間30分くらいの間にすっかりグラウンドは美しくなりました。

9~10月にかけて、小学校親善陸上競技大会や中学校駅伝大会、運動会など体育的行事が目白押しです。それらに向けた練習を快適に行うことができました。心より感謝申し上げます。



9月13日、佐渡市教育委員会より、北朝鮮による弾道ミサイルに係る対応について次の基本方針が送付されました。

「日本の領土・領海に落下した場合は臨時休業の措置をとる。」  
当校もこの基本方針に沿って対応いたしますので、その旨ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。